

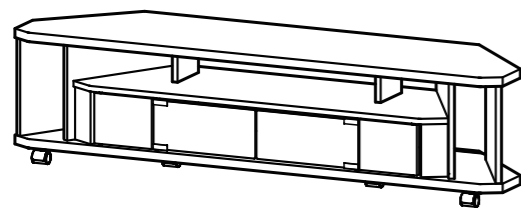
Model Name.

ヌック
TVラック

Model No.

NOA-1400AV-BK

完成図



組み立てる時の注意点

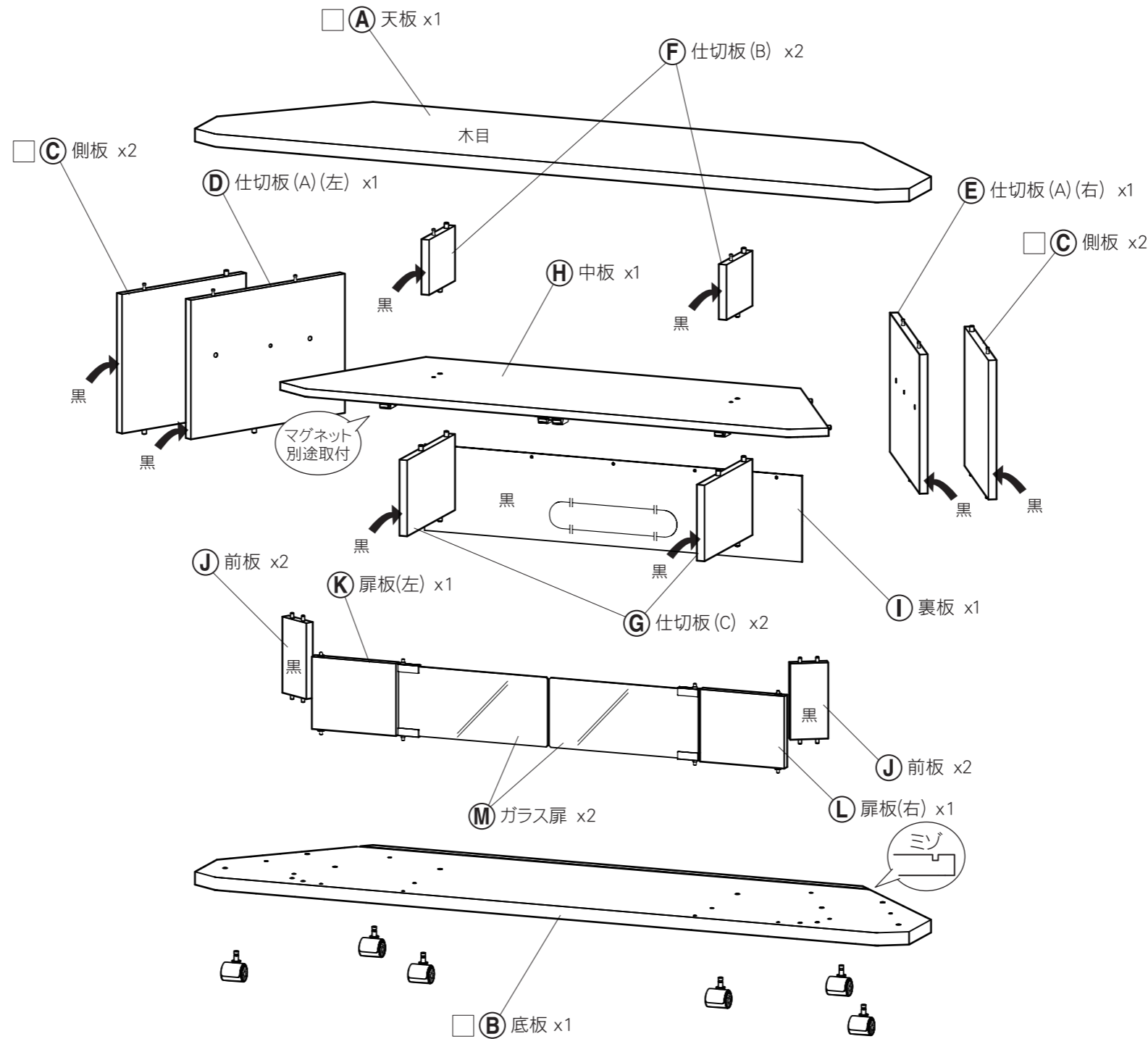
- a) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- b) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- c) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。

組み立ての必需品



※ no.2のドライバーを準備してください。

●まずは部品をチェック ✓ しましょう。



全体図

部品

□ ①	ラップネジ		12
□ ②	マグネットラッチ(大)		1
□ ③	マグネットラッチ(小)		2
□ ④	マグネットラッチ用 取り付けネジ		6
□ ⑤	固定ネジ		5
□ ⑥	回転ピン(A)		2
□ ⑦	回転ピン(B)		2
□ ⑧	プレート		2
□ ⑨	キャスター(シルバー)		2
□ ⑩	キャスター(ブラック)		4
□ ⑪	キャスタートレイ		2
□ ⑫	転倒防止ロープ		1
□ ⑬	ワッシャー		2
□ ⑭	転倒防止ロープ 用取り付けネジ		1
□ ⑮	ASAHI WOOD エンブレム		1

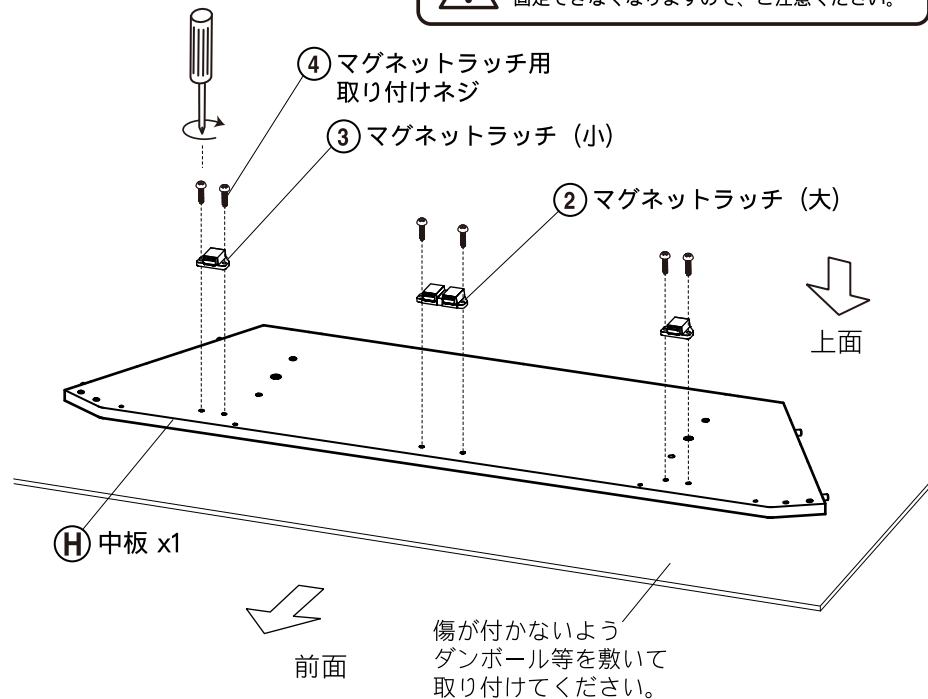
1 (H) 中板にマグネットラッチの取り付け



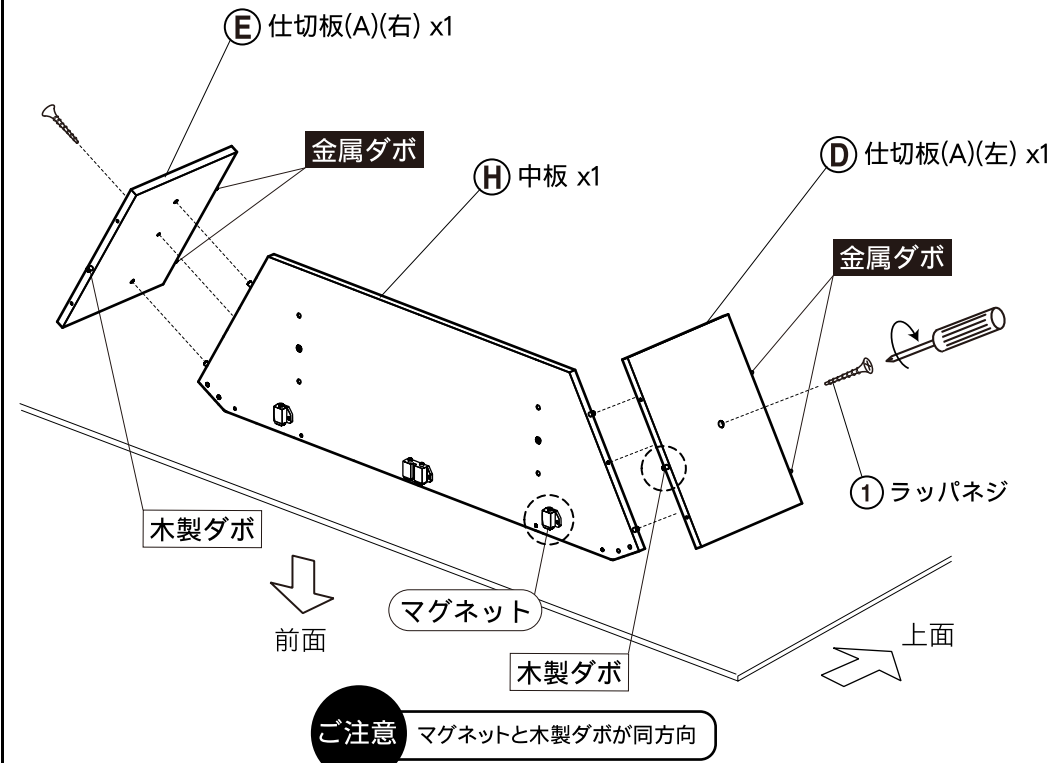
電気ドライバーの使用禁止

この工程での電気ドライバーのご使用はおやめください。部品が破損して組み立てが出来なくなる場合がございますので、手回しドライバーで組み立ててください。

過度に強い力で締め付けるとネジが空回りし固定できなくなりますので、ご注意ください。



2 (H) 中板と (D)(E) 仕切板(A)(右)(左)の組み立て



3 (A) 天板と (F) 仕切板(B)の組み立て

手順

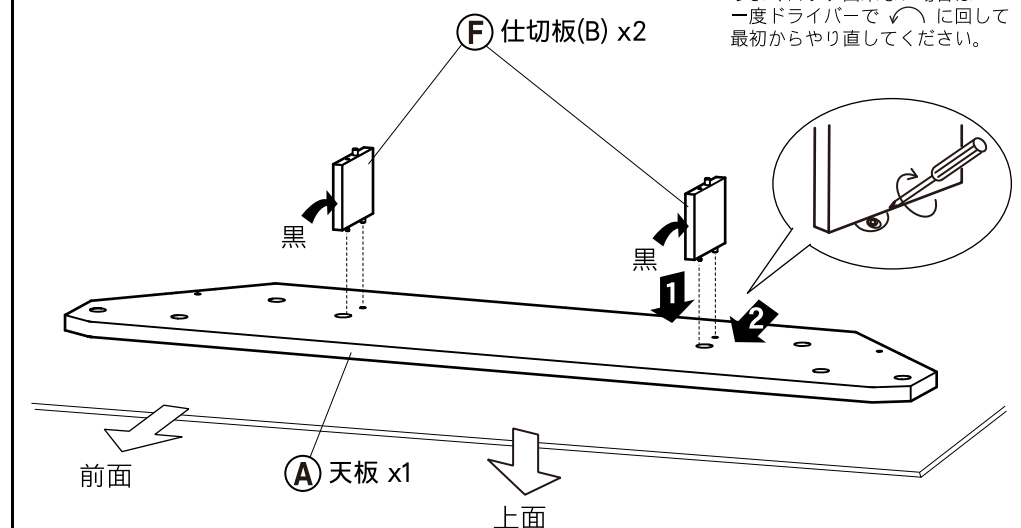
- 仕切板(B)を天板のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
- プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。



ハンマーなどで隙間の無い様にしっかりと叩き込んでください。その時、直接叩かずに古雑誌等をあててください。

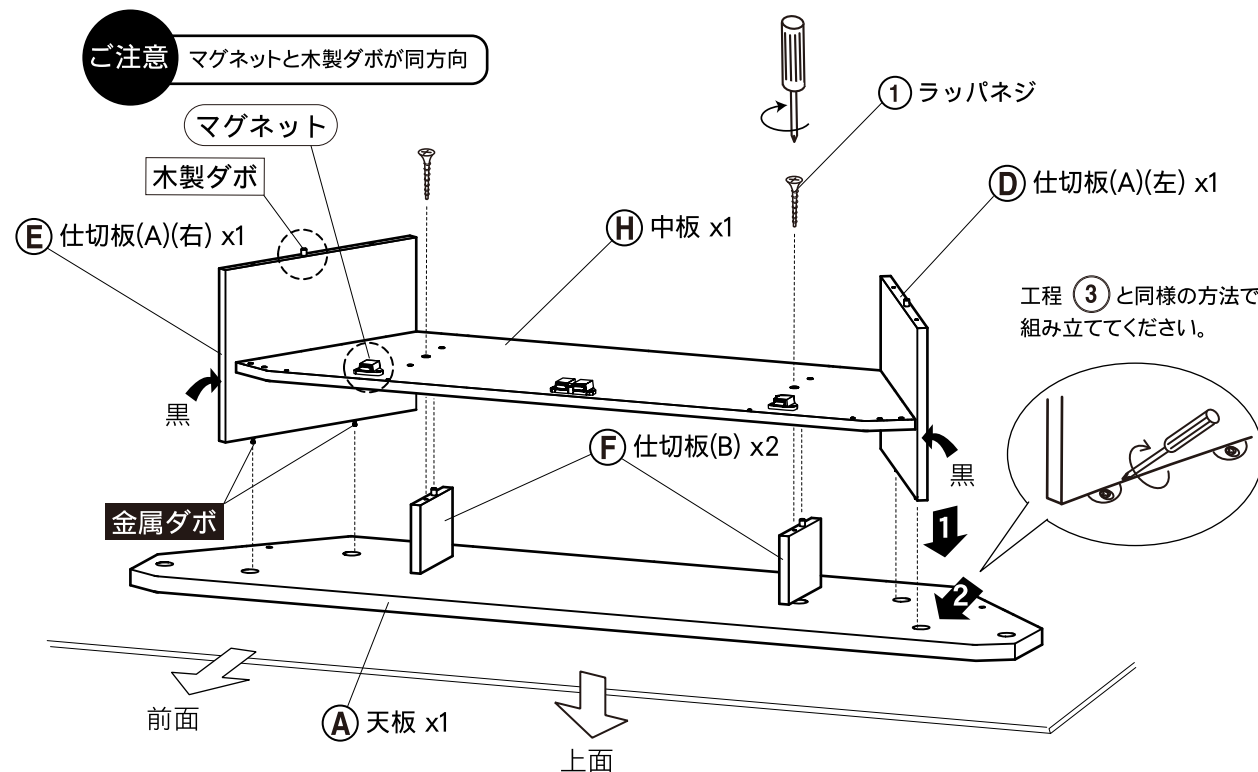
※ 仕切板(B)を上からしっかりと押さえつけて組み立ててください。押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。

うまくロック出来ない場合は一度ドライバーで(逆)に回して最初からやり直してください。

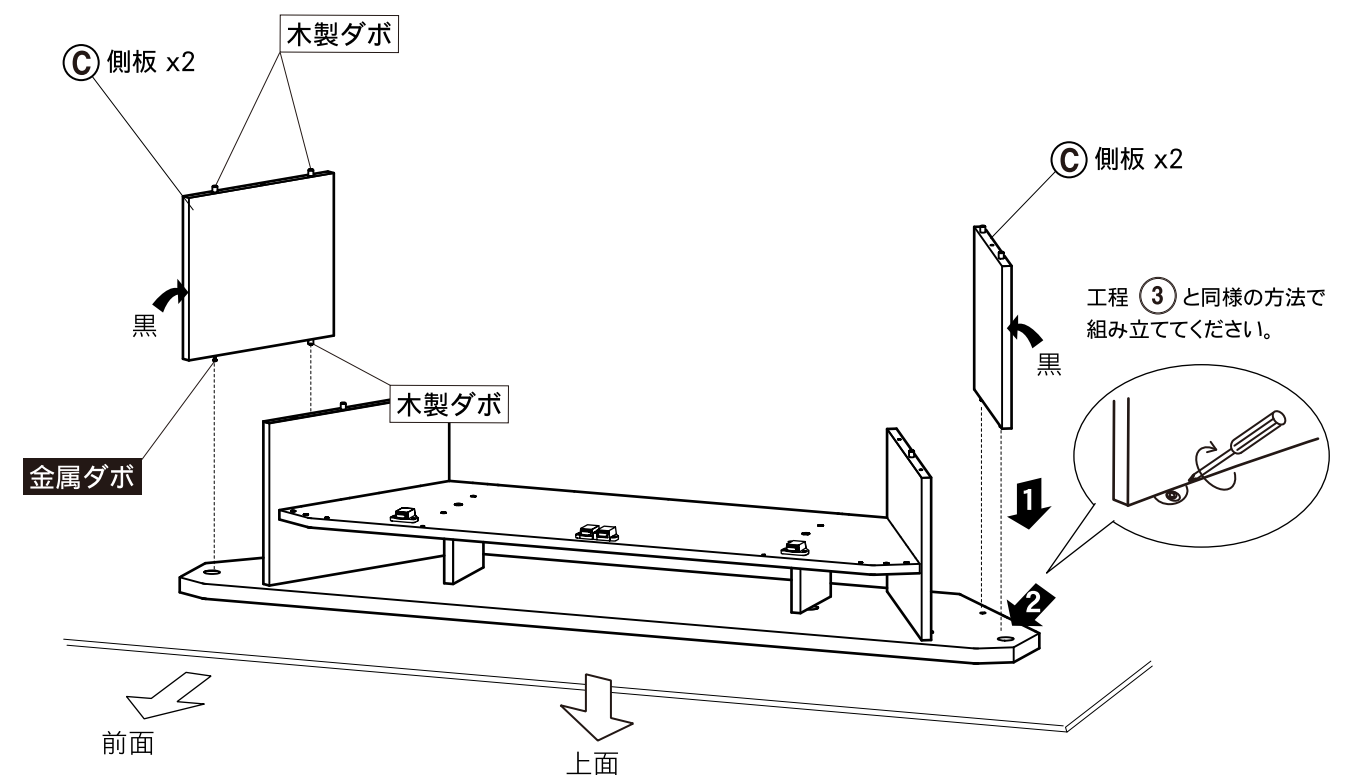


4 (A) 天板と (D)(E) 仕切板(A)(左)(右)の組み立てと (H) 中板と (F) 仕切板(B)の組み立て

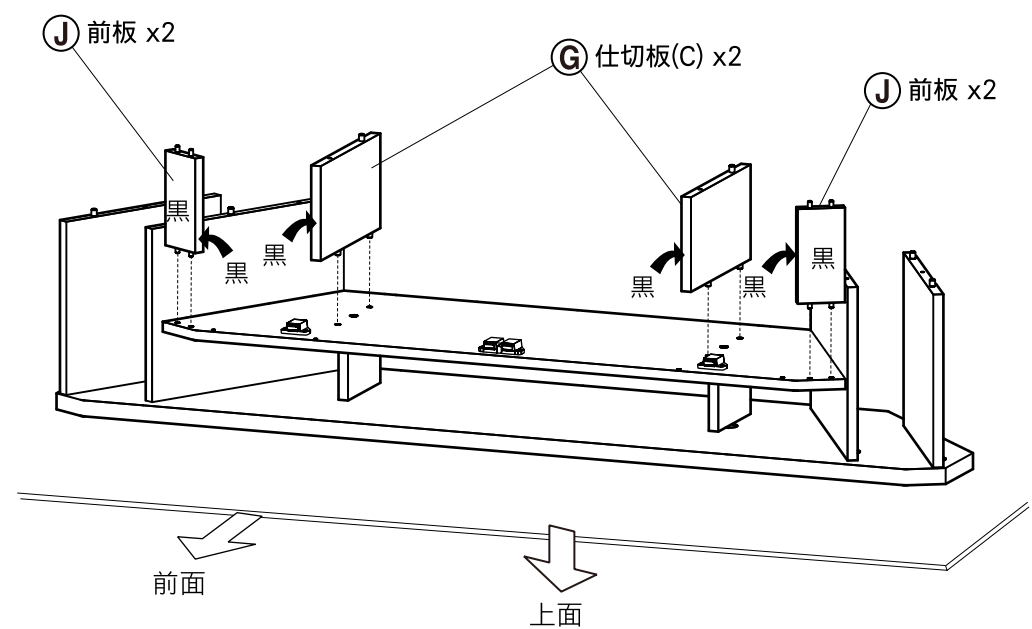
ご注意 マグネットと木製ダボが同方向



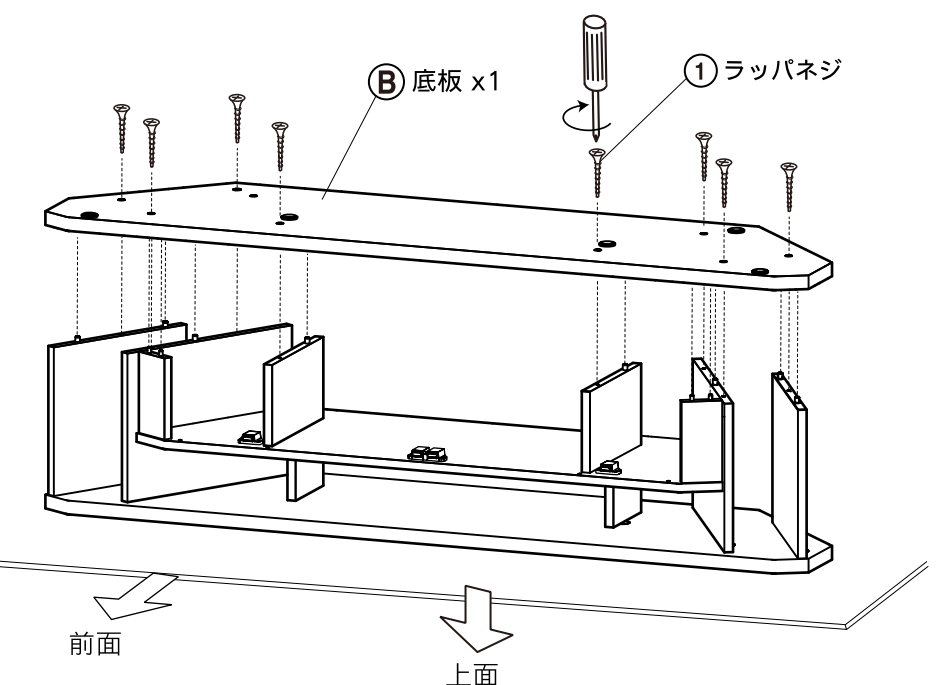
5 (C) 側板の組み立て



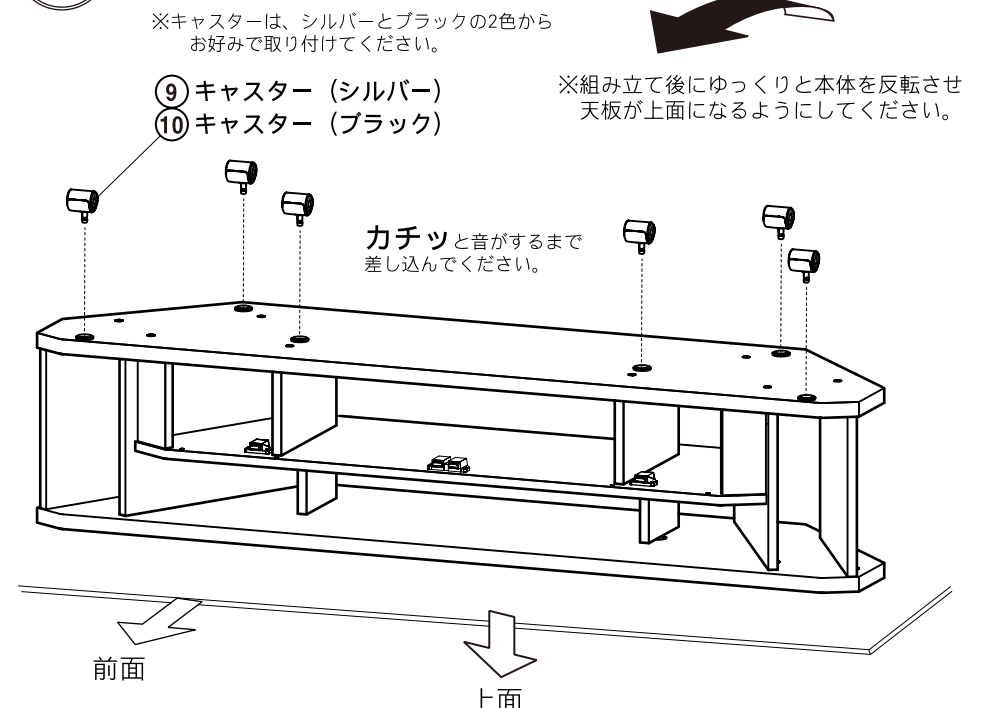
6 G 仕切板(C)と J 前板の組み立て



7 B 底板の組み立て

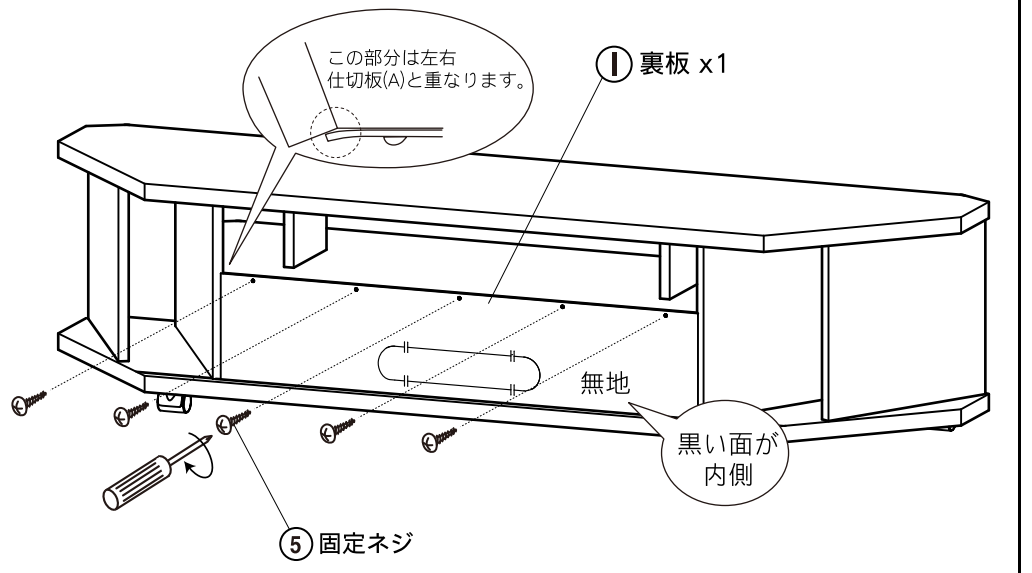


8 キャスターの取り付け



9 I 裏板の組み立て

※底板のミゾに合わせて裏板を差し込んだ後固定ネジを締め付けてください。



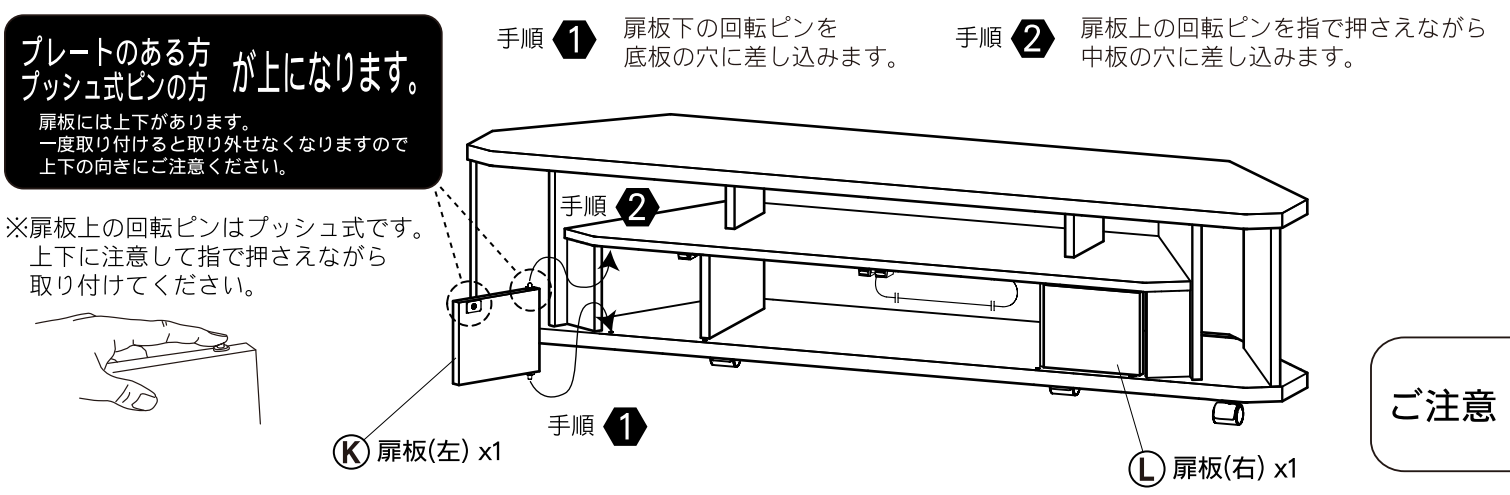
機器などを設置するときは
裏板には配線処理用として上図の点線部があくようになっています。右図のように切り込みの接続部をカッターなどで切り取ってください。その際は、カッターの取扱いに十分ご注意ください。

切り込みの接続部

10 K L 扉板(左)(右)と M ガラス扉の組み立て

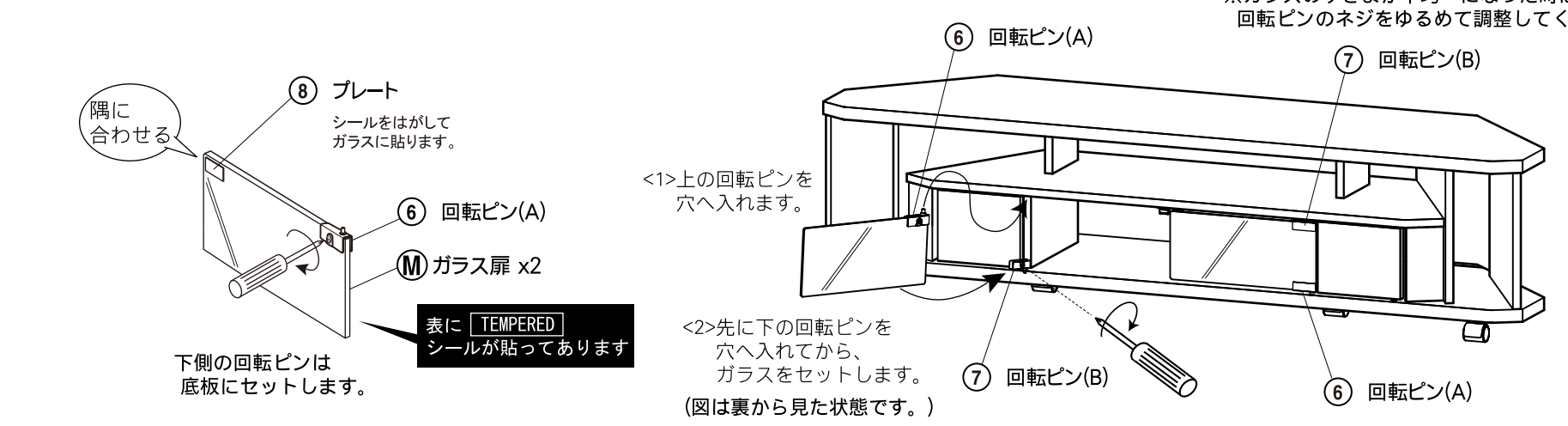
プレートのある方が上になります。
プッシュ式ピンの方が上になります。
扉板には上下があります。一度取り付けると取り外せなくなりますので上下の向きにご確認ください。

※扉板上の回転ピンはプッシュ式です。上下に注意して指で押さえながら取り付けてください。



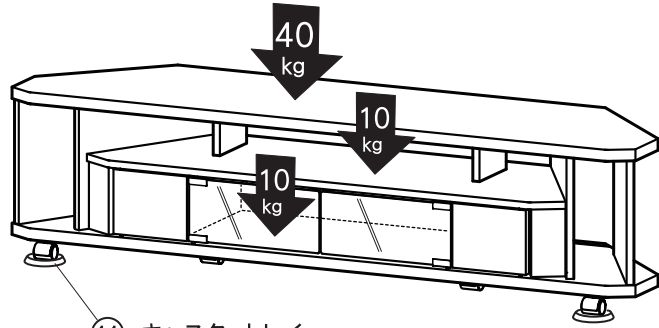
ご注意
ガラス扉には安全のため、飛散防止フィルムが貼られています。フィルム面を必ず裏(内側)にしてご使用ください。フィルム面に傷をつけると破損しやすくなり、けがをする原因となります。

※ガラスのすきまが不均一になった時は回転ピンのネジをゆるめて調整してください。





11 できあがり!



11 キャスタートレイ
※移動される時以外は、必ず
キャスタートレイをご使用ください

耐荷重の目安

天板	40kg
底板	10kg
中板	10kg

ASAHI WOOD

15 ASAHI WOODエンブレム
好きな位置に貼ってください

ありがとうございました。

テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお子様登ったり、揺すったり、押したりされるとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用品にて対応出来る場合もございます。
テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用品かテレビ台付属の転倒防止用品のどちらか適した方を選択しお取付けください。

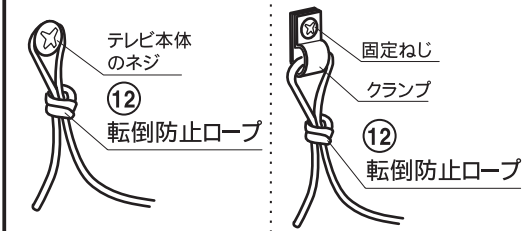
テレビ台付属 転倒防止用品	12 転倒防止ロープ...1	13 ワッシャー...2	14 転倒防止ロープ 用取付けネジ...1
------------------	----------------	--------------	--------------------------

※テレビ側に固定するネジは付属していません。【テレビの形状により下図の様にお取付けできないものもございますので、ご了承ください】

手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されている
転倒防止用具(固定ねじ・クランプ等)にロープをかけます。
※取付穴は壁掛け金具取付用ネジ穴などを使用します。

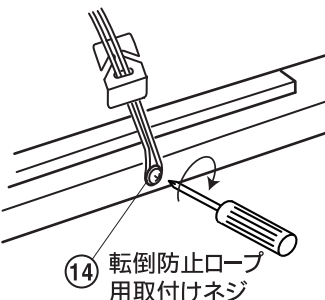
<テレビ本体のねじの場合> <クランプの場合>



上図の様にロープを結んで取付けをします。
※必要に応じて 13 ワッシャー をご使用ください。

手順 2

ロープが輪になっている部分を
図の様に転倒防止ロープ用ネジで
天板に仮固定をします。
ネジは完全に締めないでください。



手順 3

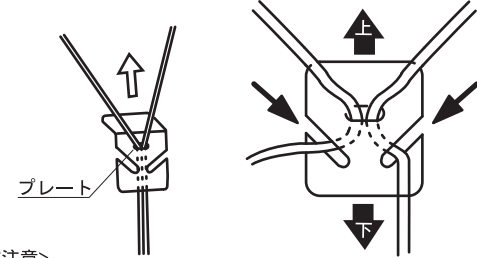
片側と同様にロープを
取付けます。

重要!!

テレビ内部やコンセントに入らないよう
あまったロープは巻き付けるまたは
テープなどで止めてください。

手順 4

ロープがV字状に取付けが出来たらプレートを図の向きにし、
上に引き上げてロープを張らせませす。ロープが張った状態でプレートの
ミノにロープを引っ掛けて固定します。
最後に 手順 2 の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締めてください。



<注意>
ロープを張りすぎるとテレビが転倒する恐れがありますのでご注意ください。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合は
これも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時
にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材で
しっかり固定してください。また、家具の
上に物を置くと落ちてケガをする事
があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留する
とカビやダニが発生しやすくなり、健康を
害する事があります。家具の裏側も空気が
流れるよう壁から少し離したり (10cm
位が望ましい) 部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直
接当たらない様にしてください。家具が歪
んだりする原因となることがあります。

⑧木材の接着剤等 (ホルムアルデヒド) が
残っている家具で人によってはアレルギー症状
をおこすことがありますので、換気を十分にし
て取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に
取りつけてください。中途半端な取り付け
では、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガ
をする事があります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したり
して物を壊したりケガをする事がない様に
手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさま
ないようにご注意ください。

ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などに
ぶら下がったり無理な力で引張ったりしな
いでください。家具が倒れてケガをする事
があります。又、扉や引出しを同時にいく
つも開けたり、引き出したりしないでくだ
さい。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっ
ぱいに引出すと 抜け落ちてケガをする事
があります。

⑥キャスター (移動用小車) 付きの場合は、
その上に乗ったり押して遊んだりしないで
ください。倒れてケガをしたりする事
があります。

⑦家具の上にとったり、踏み台代わりに
使ったりしないでください。倒れてケガを
する事があります。

保守・点検

②チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類
がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめた
らしっかり締め直してください。ゆるんだまま使
っていると家具がこわれて、ケガをする事
があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんで
いたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理
をしてください。他から虫が入った事も考えられ
るので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

PL賠償制度付共済



(社)日本家具産業振興会
TEL 03-3261-2805